

柿をおいしく 食べましょう

市内全域で果実が色づく時期になると、葉がなく果実のみ付いている柿の木。冬になると、白い綿のようなものが枝にいつぱい付いた柿の木が目につきます。このような木は果実もおいしくありません。

ん。少なくともこれだけの作業はやりましょう。

◎落葉病対策

(1)病原菌は、落ち葉または枝に残ったヘタの上で越冬するので、ヘタを除去し落ち葉とともに焼きましょう。

(2)樹勢が衰える被害が大きいので、肥料不足にならないようにするとともに、乾燥期には敷草を十分にやりましょう。

(3)薬剤防除では、ボルドー液、ダイセン類、トップジンが有効です。時期は六月と七月がよいでしょう。

◎ツノロウムシ対策

この虫は、七月上旬、中旬に最も幼虫が多くなります。この時期にスブラサイド水和剤千五百倍を散布しましょう。

次に「しぶ柿」の上手な渋抜き

方法です。お好みに合った方法でやってください。

◎味がよく果肉も柔らかい「アルコール法」

ポリエチレン袋(厚さ0・05mm・0・07mm)を用意し、これを段ボールに入れて果実を詰め合わせ、三五度の焼ちゅうを一箱当たり(果実一五kg)に一五〇リットル(一合弱)を上から吹きつけて密封する。気温の高い時期では、十五日ほどで渋が抜けます。

◎歯切れがよく、長持ちする「ドライアイス法」

柿一〇kg(六十〜六十五個)、ビニール一斗袋二枚、ドライアイス二〇〇〜三〇〇g、新聞紙十枚、段ボール箱を用意します。

(1)ビニール袋を段ボール箱に敷き込む。

(2)柿をヘタとヘタを向き合わせ横

に並べ、二段くらい並べたら新聞を二枚敷き、また柿を並べる。

(3)ドライアイスを大粒きにして新聞で包み袋に入れる(ドライアイスが柿に触らないように)。

(4)袋の空気をできるだけ抜いて、しっかりと縛る。

(5)直射日光が当たらないで、日中

の温度が少し上がる場所へ八〜九日程度置く。

◎両方の利点を利用する方法

ドライアイス方式に焼ちゅうを柿一〇kg当たり六五リットル用い、後はドライアイス法と同じ方法で処理する。

【南国農業改良普及所】

逆効果



南国歌壇

短歌一首整わぬままつわぶきの

光る葉叩く秋雨見えており

立田 北村賀寿恵

なるかみの如き機音も静まりて

あたり静かにコホロギの鳴く

立田 池田小村

花殻を摘みつつせて今日ひと日
儼さしき妻でありたしと思う

篠原 小松延江

儼かなる年金入りし日の夕べ

富みし思いに風の街ゆく

岡豊町常通寺島 武樋信子

わが作る風船草の種子ならむ

わた毛ひろげて風に乗りゆく

岡豊町笠ノ川 葛目治子

山並みを穿ちて谷もかけめぐる

高速道の成る日近づく

大埔 中田憲秀

南国柳壇

足痛めベッドに安静一苦勞かな

立田 清岡照子

老い松に存分に鳴く蟬の声

十市 武市日出志

敬老会少し若やう服を買ひ

立田 北村幸江

虫の音や青空高く赤トンボ

里改田 下総一子

南国俳壇

法師蟬患者ひとり正座する

標準語使いそびれし夏永

秋桜心筋梗塞いつ癒る

塩煎餅女ひとり夜の夜長かな

したたかに生きて来し五十泡立草

秋霖に濡れきし男が闇に消ゆ

蟬雲霞に染まり日の終る

朝霧に湖畔の句碑もうすれけり

戦国の田塚あちこち曼珠沙華

西本かき子(岩村句会)

北岡高子()

島崎洗一()

浜田美知(稻生葉月会)

沢本吉子()

岩崎佳江()

清水弥生(おがたま会)

矢野 静()

岩貞米猪()